

第53期株主通信 | 平成22年4月1日～平成23年3月31日





健康はキョーリンの願いです

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、
人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

Profile

株式会社キョーリンは平成22年7月1日より、商号を「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」に変更しました。「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。

グループ体制図



中期経営計画「HOPE100 ーステージ1ー」の達成を目指し、 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

本年3月に発生しました東日本大震災により、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。当社グループの第53期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の事業概況並びに諸計算書をご報告申し上げます。

当社グループは「キョーリンは生命を慈む心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します」という企業理念の具現化に向け、中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周年にあたる平成35年を見すえた長期ビジョン「HOPE100」



代表取締役社長 山下正弘

及びその実現に向けた中期経営計画「HOPE100ーステージ1ー(平成22年度～27年度)」をスタートいたしました。その初年度にあたる平成22年度は全社員が結束し企業活動を推進した結果、業績面では過去最高の売上高、営業利益を達成することができました。

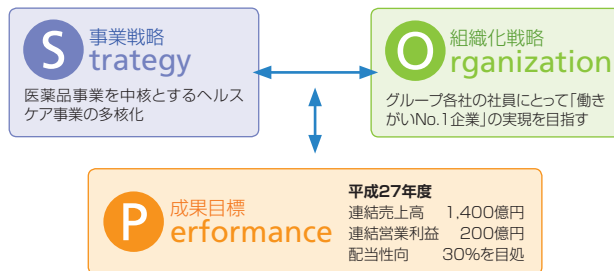
これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医薬品事業を中核とする多核的なヘルスケア事業ポートフォリオの構築により、多様な健康ニーズに対応すると共にリスクの分散を図り、「健康生活応援企業」へと進化することを目指します。

株主の皆さまには、引き続きなお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」

HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises
キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、平成35年には社内外が認める健全な健康生活応援企業へと進化します。

中期経営計画「HOPE100 ーステージ1ー(平成22年度～27年度)」



》》 当期の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経営環境は、より一層厳しさを増しました。国内医療用医薬品業界では、平成22年4月の薬価基準の改定(業界平均実質:約6.5%、杏林製薬(株):6%台)など、医療費・薬剤費抑制を目的とした諸施策が継続的に実施され、ヘルスケア事業領域の一部市場では高価格帯品で回復の兆しが見えるものの、個人消費の低迷は持続しました。

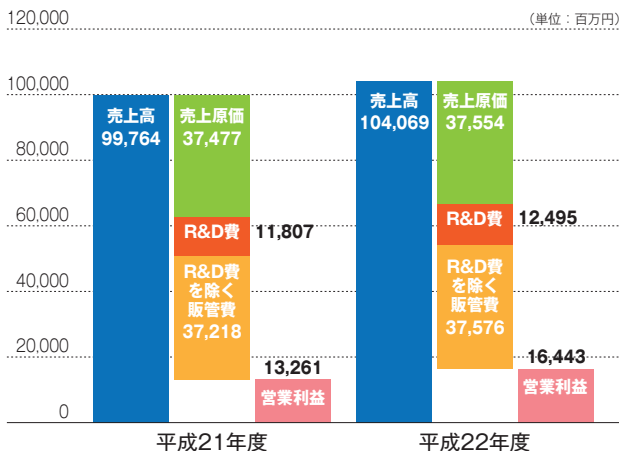
このような状況下、当社グループは、今年度、新中期経営計画「HOPE100—ステージ1—(平成22年度~平成27年度)」をスタートし、「新たな医薬事業モデルの構築と推進」「ヘルスケア事業の育成と新規事業の創出」等に取り組み、持続的かつ健全な成長に向け積極的な企業経営を推進いたしました。

医薬品事業では、医療用医薬品の薬価改定の影響を受けつつも、国内新医薬品におきましては、主要製品の普及の最大化に努め、薬価改定の影響を上回る数量ベースでの伸びを実現し、また、後発(ジェネリック)医薬品では保険調剤薬局市場での販

売が増加し、売上は前年を上回る実績となりました。ヘルスケア事業では、需要減少の影響等もあり売上が低迷いたしました。この結果、売上高は当社グループとして初めて1,000億円を突破し、過去最高となる1,040億69百万円を計上し、前年同期比43億04百万円(前年同期比4.3%増)の増収となりました。

利益面におきましては、原価率の低い自社製品の売上増加、仕入れ品の減少などプロダクトミックスの変動による低下とキョーリン リメディオ(株)の原価率の低減などにより売上原価率は、1.5ポイント改善し、売上総利益は665億14百万円と前年同期比42億27百万円増となりました。一方、販売費及び一般管理費は前年同期比10億46百万円の増加(研究開発費6億88百万円増)に止まり、営業利益は164億43百万円と前年同期比31億81百万円(前年同期比24.0%増)の増益となり過去最高益を更新いたしました。経常利益は、171億10百万円(前年同期比20.2%増)、当期純利益は109億27百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

■ 損益の概要



■ セグメント別売上高



■ 平成24年3月期連結業績予想(通期) (平成23年5月11日公表数値)

売上高	1,065億円	(前年同期比 2.3%増)
営業利益	166億円	(前年同期比 1.0%増)
経常利益	172億円	(前年同期比 0.5%増)
当期純利益	109億円	(前年同期比 0.3%減)

セグメントの状況

医薬品事業

売上高 **1,012億71**百万円
営業利益 **163億18**百万円

国内新医薬品 呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師、医療機関に営業活動を重点化するフランチャイスクスタマー（FC）戦略及び卸店政策の更なる強化により、効率的な販売力の発揮、生産性の向上に努めると共に科学的根拠に基づく適正使用と製品の普及の最大化を推進し、その結果、売上高は前年を上回り、852億84百万円（前年同期比6.9%増）となりました。主要製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が好調に推移し、去痰剤「ムコダイン」も前年を上回る実績となりました。

海外新医薬品 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン点眼液（導出先：米国アラガン社）」の売上は前年に対しほぼ横ばいで推移し、売上高は27億36百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

後発（ジェネリック）医薬品 平成22年4月より推進されている後発医薬品の使用促進策等により市場の拡大が進展する中、保険調剤薬局等での売上が好調に推移し、売上高は88億71百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

一般用医薬品他 主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」等の売上は前年を上回ったものの、(株)杏文堂（平成23年4月1日付で、キョーリン メディカルサプライ(株)へ商号を変更しております）の決算期変更の影響により、売上高は前年を下回る43億78百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

研究開発の状況につきましては、自社創製品、導入品、既存品のライフサイクルマネジメント（新効能・効果の取得、剤型の追加）により、特定領域において魅力ある製品パイプラインの構築に積極的に取り組んでいます。自社創業活動では、研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症等に重点化し、効果的かつ効率的な新薬の創製に努めています。マーケットインの発想に基づき、研究開発プロセスの改革に取り組むと共に、当社グループ内の杏林製薬(株)創業研究所（日本）、ActivX社（米国）、キョーリンスコット

ランド研究所（英国）の機能の明確化と連携強化等により、グローバル創業ネットワークの再構築を推進しました。

国内開発の進捗状況としましては、気管支喘息治療薬「KRP-108」のPh（フェーズ）Ⅱb臨床試験を平成22年4月に終了し、同8月よりPhⅢ臨床試験を開始しました。また、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ベンタサ」の新剤型として坐剤のPhⅢ臨床試験を平成22年11月より開始、「KRP-203」のPhⅠ臨床試験を炎症性腸疾患において平成22年12月より開始しました。

糖尿病合併症治療剤「AS-3201」のPhⅡb臨床試験を平成23年3月に終了しました。

過活動膀胱治療剤「ウリトスOD錠」（剤型追加：口腔内崩壊錠）につきましては、平成23年4月に新発売しました。

海外開発の進捗状況としましては、オピオイド誘発性便秘治療剤「KRP-110」のPhⅠ臨床試験を平成22年8月に米国で開始しました。ライセンシング（導出入）活動に関連しましては、杏林製薬(株)が創製した「KRP-203」の炎症性腸疾患に関する新たなライセンス契約を平成22年11月にノバルティス（本社：スイス）と締結しました。また、平成23年2月に慢性閉塞性肺疾患治療剤「KRP-AB1102」の国内ライセンス契約をAlmirall社（本社：スペイン）と締結し、日本国内における独占的開発権、販売権を取得しました。

この結果、当連結会計年度における研究開発費は124億95百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

ヘルスケア事業 **売上高27億97**百万円
（スキンケア事業） **営業利益1億4**百万円

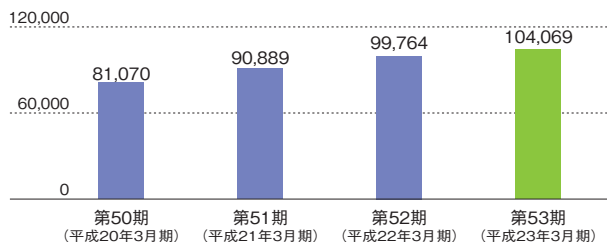
ナノカプセル技術を応用した化粧品事業を行うドクタープログラム(株)の売上が、需要減少の影響等により低迷しました。

この結果、当セグメントの売上高は27億97百万円（前年同期比16.3%減）となり、営業利益は1億04百万円（前年同期は1億92百万円の営業損失）となりました。

売上高 104,069百万円

前年同期比4.3%増

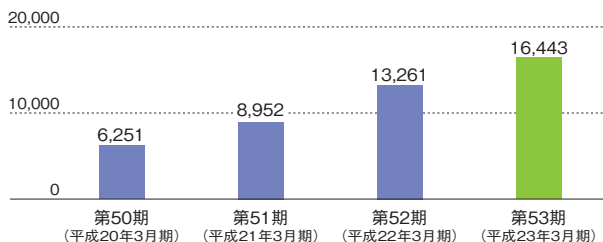
(単位：百万円)



営業利益 16,443百万円

前年同期比24.0%増

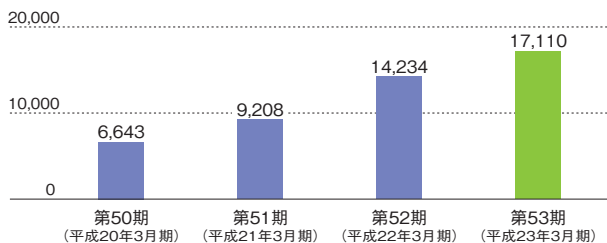
(単位：百万円)



経常利益 17,110百万円

前年同期比20.2%増

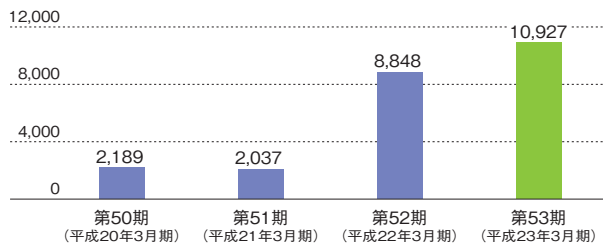
(単位：百万円)



当期純利益 10,927百万円

前年同期比23.5%増

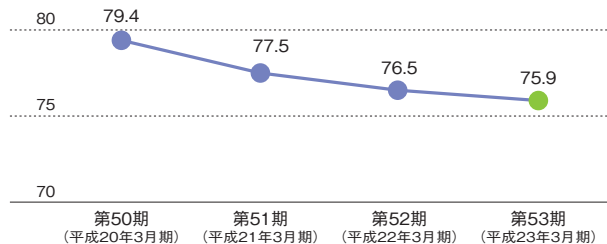
(単位：百万円)



自己資本比率 75.9%

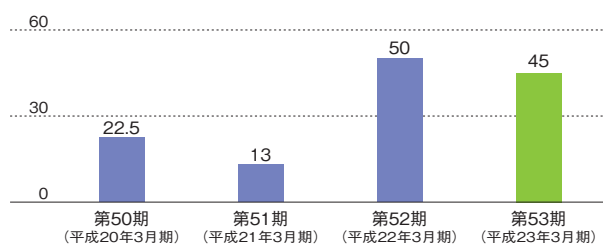
前年同期比0.6ポイント下降

(単位：%)



配当金 45円

(単位：円)



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末 平成23年3月31日現在	前期末 平成22年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	104,427	91,060
固定資産	42,806	46,129
有形固定資産	14,916	15,825
無形固定資産	816	1,024
投資その他の資産	27,073	29,278
資産合計	147,234	137,190
【負債の部】		
流動負債	30,421	26,198
固定負債	5,105	6,079
負債合計	35,527	32,278
【純資産の部】		
株主資本	112,076	104,907
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	106,928	99,738
自己株式	△304	△283
その他の包括利益累計額 （評価・換算差額等）	△370 —	— 3
純資産合計	111,706	104,911
負債純資産合計	147,234	137,190

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	104,069	99,764
売上原価	37,554	37,477
売上総利益	66,514	62,287
販売費及び一般管理費	50,071	49,025
営業利益	16,443	13,261
営業外収益	769	1,092
営業外費用	102	120
経常利益	17,110	14,234
特別利益	141	49
特別損失	115	301
税金等調整前当期純利益	17,136	13,982
法人税、住民税及び事業税	5,944	5,518
法人税等調整額	265	△385
少数株主損益調整前当期純利益	10,927	—
当期純利益	10,927	8,848

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	6,805	12,027
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,806	412
財務活動による キャッシュ・フロー	201	△3,297
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△93	50
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	5,108	9,193
現金及び現金同等物の 期首残高	21,556	12,363
現金及び現金同等物の 期末残高	26,665	21,556

主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として画期的新薬を創製し、医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。

気道粘液調整・粘膜正常化剤

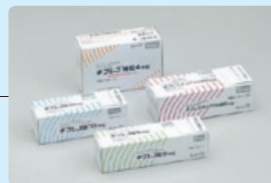
ムコダイン[®] 剤



MUCODYNE

気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

キプレス[®]



KIPRES

過活動膀胱治療剤

ウリトス[®] 錠



URITOS

潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤

ペンタサ[®]



PENTASA

脳血管障害・気管支喘息改善剤

ケタス[®] カプセル



KETAS Caps.

活性型ビタミンD₃製剤

ロカルトロール

胃炎・胃潰瘍治療剤

アブレース

広範囲抗菌剤

バクシダール

哺乳びん殺菌消毒剤

ミルトン

■会社概要 (平成23年3月31日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文:KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	67名(連結2,294名)

■株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,947,628株
	(内、自己株式 214,646株)
当期末株主数	4,864名

■役員 (平成23年6月24日 現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長	山 下 正 弘
取締役	平 井 敬 二
常務取締役	穂 川 稔
常務取締役	宮 下 三 朝
取締役	まつもと とも 春
取締役	おぎ 原 豊
常勤監査役	みや 下 征 佑
常勤監査役	あ べ しげる 茂
監査役	お 幡 まさ じ 二
監査役	ほん だ じゆん じ 淳 治
監査役	ひろ た やす ゆき 廣 田 保 之

執行役員

常務執行役員	いし ぎき たか よし 石 崎 孝 義
常務執行役員	い とう よう 伊 藤 洋
常務執行役員	かな い さとる 金 井 寛
執行役員	わた なべ はる き 渡 辺 治 樹
執行役員	にし の たか し 西 野 隆 司
執行役員	おぎ はら しげる 荻 原 茂

キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

杏林製薬(株)は、キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。国内外の医薬品業界を取り巻く環境が激動する中で、確固たるポジションを確保すべく、これからも個性的で存在意義のある健康貢献企業を目指して事業活動に取り組んでまいります。

主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 | 製造 | 販売



キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

キョーリン リメディオ(株)は、キョーリン製薬グループのジェネリック医薬品事業子会社であり、「信頼される後発医薬品企業」を目指し、品質面での向上を図り、医療に携わる方々から信頼され、患者さんが安心して服用できる製品を供給しています。患者さんの健康への貢献、そして医療費抑制、社会保障制度の維持という社会的に重要な役割を担うために、これからも品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、特色のある・信頼される後発医薬品企業を目指します。

主な事業内容

研究開発 | 製造 | 販売



ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

ドクタープログラム(株)は、新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた、製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤とし、創業以来、「安全で真に効果の高い」化粧品を提供することでお客様の支持と信頼を獲得し、成長を遂げてきました。今後もお客様の声に真摯に耳を傾け、これまで市場に存在しなかった新しい価値を創造し、女性の美と健康に貢献していきます。

主な事業内容

スキンケア商品の開発と販売



キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

本年4月に前身である(株)杏文堂からキョーリン メディカルサプライ(株)に社名を変更しました。

人々のライフスタイルが変化し健康に対するニーズも多様化する中、社会や個人が抱える健康や疾病の問題に人々を取り巻く環境からアプローチし、人々に有害な影響を及ぼす環境を改善することによって健康の維持・増進を図るため新たに環境衛生事業に取り組み、健康生活応援企業として社会に貢献します。

主な事業内容

販売促進 | 広告の企画、制作



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月に開催		
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日	
	期末配当金	3月31日	
	中間配当金	9月30日	
単元株式数	1,000株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部		
(お問合せ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)		
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店		
公告掲載紙	日本経済新聞		

(ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。
株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんので
注意願います。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合
住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、
みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 平成23年6月9日に発送いたしました第53回定時株主総会招集ご通知
に同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用
いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、
お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記取次所(株主メモ参照)及びみず
ほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな
情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

ホームページサイト

キョーリン製薬 グループについて	社長挨拶、企業理念ビジョン、会社概要、 グループ概要、組織図 等
事業内容	新医薬品、ジェネリック医薬品、ヘルスケア 事業 等
株主・投資家情報	IRライブラリ、アニュアルレポート、有価 証券報告書、株主総会招集通知 等
その他、グループ経営戦略、CSR活動 等	

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にあ
る検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索
してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元
に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サー
ビスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細
<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させて
いただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地 TEL:03-3293-3451(代)

